

ほけんだより

3年生
特別号



令和5年2月
滝ノ水中学校
保健室

2月1日(水) 福山女学園大学の中嶋文字先生に「自分と大切なひとを守るために知っておいてほしいこと」というテーマで性に関するお話をしていただきました。皆さんは今の時期、体だけでなく、心も子どもから大人に近づいていき、自立しようという気持ちが芽生えたり、異性への関心が高まったりします。大切に育てられてきた立場から、新しい命を生み出すことができる立場に変化していく、今だからこそ聞いてほしい内容ばかりでした。今回の授業が、命のこと、周りの人との関わり、自分の生き方について考えるきっかけになってくれればと思います。

<デートDVって? ~保健委員によるロールプレイング~>

- デートDVには…**
- 身体的暴力
 - 束縛の暴力
 - 精神的暴力
 - 性的暴力
 - 金銭的暴力



ロールプレイングの様子 (相手の気持ちや都合を考えない付き合い方の例)

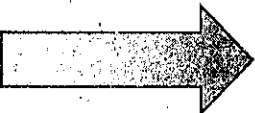
デートDVには、殴る蹴るといった「身体的暴力」だけでなく、相手の自由を奪う「束縛の暴力」や、金銭的に対等でない「金銭的暴力」といったものもあります。

自分の気持ちや大切にしていることを尊重してくれない相手は、自分を大切にしてくれているとは言えません。お付き合いをする際は、お互いが対等な関係でいることが大切です。しかし、**対等な関係は自然にできるものではなく、つくっていくものです。自分と相手の気持ちや価値観を、互いに尊重し合うことを心掛けましょう。**また、デートDVの加害者も被害者も、本人たちは気が付かないことがあります。周りの友だちの付き合い方がおかしいと感じたら、声を掛けてあげてください。

<性感染症の広がりを表す水の交換実験>



まずは、隣の人と交換。その次は違う人、もう一人違う人と交換。



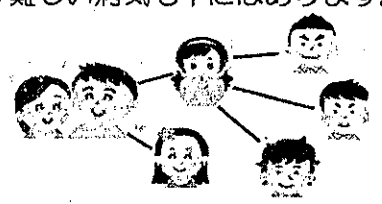
最初の感染者役は2人でしたが、3回違う相手と水の交換をすると、12人に感染が拡がりました。

検査薬を入れると、感染していた人の水に色が付きました。

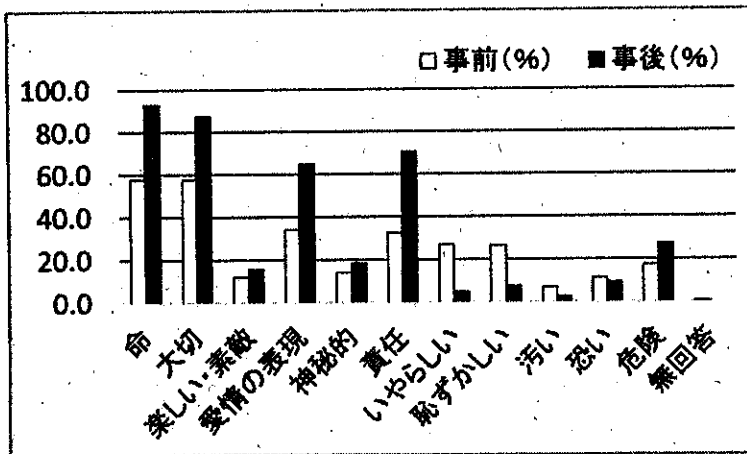
性感染症は、「症状がない」ことが多く、感染していることに気が付きにくいのが特徴です。実験でも、試薬を使って色を付けたことで初めて感染していることが分かりました。同じように、**性感染症に感染しているかどうかを確実に知るには、検査するしかありません。**

また、症状がなくても不妊の原因になってしまう病気や、完全に治すことが難しい病気も中にはあります。実際は、二人だけの問題ではなく、**その背景にはたくさんの他人が関わっていることを忘れないでいてほしい**と思います。

性感染症は予防することができます。自分や相手の健康を守るための正しい知識をもった上で、相手との豊かな関係を築けるといいですね。



<「性」に対するイメージの変化>

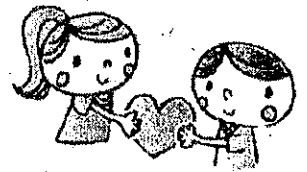


授業の前と後に「性」に対してどんなイメージをもつかをアンケートで聞きました。

授業を受ける前には、「命」「大切」といったポジティブなイメージをもっている人が多かった一方、「いやらしい」「恥ずかしい」といったネガティブなイメージをもっている人もいました。授業後には、「命」「大切」「愛情の表現」「責任」と答えた人が大幅に増えました。また、「いやらしい」「恥ずかしい」といったイメージをもっている人は減りました。逆に、「危険」というイメージをもった人が増えました。性感染症や望まない妊娠などのリスクについても理解した上で、行動選択をしていくことが大切です。

★みんなの感想★

- 女性は男性に比べて、もし妊娠してしまった時などに、心や体の負担が大きいから気を付けたいと思ったし、自分の体は自分で守ることが必要だと思った。
- 大切だと思う相手こそ、簡単にそういうことをしてはいけないと思いました。恋人との愛情表現には、たくさんのリスクと責任が伴うので、その責任を一緒に背負える人を見つけたいと思いました。
- 性についてプラスのイメージを元々もっていたが、何となくオープンに話すものではないと思っていた。それがプライバシーの話だからしない、というのはその通りだと思うし、大切なことであるが、LGBTなど個性に関する話が話されにくいという空気は改めなくてはならないと思った。自分たちの世代が正しい性についての空気をつくれたらとも思った。
- 自分はまだお付き合いをしたことがなく、したいとも思ったことがないが、それはそれで自然なことなのだなあという理解ができた。これから性についての様々な選択を、周りに感わされず自分で決められるとよいと思った。
- この先、自分に恋人ができたとして、パートナーにすべて任せるのではなく、二人でどんな関係でありたいかを考えるようにしようと思った。
- 命の重さはすべての人が等しいって言う時、少し感動をした。
- 性についてのイメージが大きく変わり、自分が生まれてきたことだけで幸福だということがよく分かった。
- 相手の意志や考えを尊重していきたい。また、男女で気持ちに差はあるし、個人でも差はあるが、それに合わせた付き合い方が大切だと感じた。性についての知識を正しく持つことが重要になってくるように感じた。
- 「性」には色々な種類があるから、ひとくくりにするのは難しいし、怖かったり危険なことがあったりする半面で、プラスなこともたくさんあるのだと知った。
- きちんとした知識を身に付けて、責任感をもとうと思った。不安なことや誰かに相談したいときは、恥ずかしくせずにしようと思った。
- 子どもを産むことはとても大変だと分かったので、知らない人でも気に掛けて、バスなどでも席を譲りたいと思った。
- 今日私が今こうやって学校に来られるのも、両親が色々な選択を正しくして、産んでくれて、育ててくれたからだから、感謝の気持ちでいっぱい。
- 性に限らず、人との関わりの中では、相手を考え、なおかつしっかり自分も意志を表現していく、そういったことが人生の中での人との付き合いで、とても大切なことだと改めて実感しました。



～おわりに～

皆さんは、中学校を卒業した後の進路に向けて、お家の人や先生と相談しながらも、最終的には自分で考え、選択してきたと思います。そして、中学校を卒業したら、より一層自分自身で考え、選択をしていく場面が増えていきます。「性」について考えることは、自分の「生き方」について考えることです。自分や相手の気持ち、体のこと、将来のことなどをしっかりと考えた上で、自分はどうしたいのか、どうすべきなのかを選択してほしいと思います。皆さんの人生が、健康で豊かなものになるよう願っています。